

寒河江を「活かし」新しい時代とともに「生きる」 「新しい寒河江」を目指して

市民の声に「応える」行政づくり

- みなさんの声を聴くための「移動市長室」・「WEBアンケート」の実施
- 行政内が有機的に機能するための「横断型連携対策室」を設置
- これまで培ったノウハウと、新しい発想を融合するための「官民連携体制」の構築
- 国・県との連携強化による「情報・人材・財源」の拡充と強化

命と健康を「守る」まちづくり

- 地域医療を守るため「新病院」を軸に、ITを活用した「広域医療体制」の確立
- 川に囲まれた寒河江市の「災害時対応（避難・救助・医療体制）力」の強化
- 地域の絆を守るため「助け合い活動や見守り活動」への情報収集と発信・支援

挑戦し「稼ぐ」仕事づくり

- 高付加価値化を狙った「地域資源ブランディング戦略」を策定し、IT活用による魅力の国内外発信
- 寒河江市の農業発展のため「既存農家・新規就農者」への支援強化と相談窓口の設置
- 産業振興のため「新規事業創出・既存事業強化・事業承継支援」などへの補助制度の強化・周知

暮らしを「支える」まちづくり

- 移住定住促進を狙った「戸建て住宅支援・空き家リフォーム支援」の実施
- 「不妊治療実質無料化」・学生向けの「奨学金支援制度」の実現
- 学びの環境を整え、子ども達を「取り残さない居場所づくり」の推進
- 地域の利便性向上と寒河江SA利用促進のため「平塩橋拡幅」の実現

ずっと寒河江、
これからも寒河江。

国井てるあきプロフィール

昭和50年
5月1日生まれ(49歳)

寒河江市立陵東中学校 卒業
山形県立谷地高等学校 卒業
菅原学園仙台ビジネス専門学校 卒業
参議院議員阿部正俊 秘書(10年8ヶ月)
寒河江市議会 議員(4期15年8ヶ月在任)
寒河江市議会 議長(平成27年～平成29年、令和3年～令和4年)

責任世代！
寒河江とともに
49年



国井てるあき

市政をしっかり継承 新たなステージへ

停滞を生み出すか、逆戻りさせるのか、それとも時代を前に進めるのか。
今の選択が10年後、20年後、30年後…「100年都市さがえ」の未来を
決定づけます。

私《齊藤まさあき》は、佐藤市政を継承し、市民の皆さんの力を結集し、
そして確実に前へ進めることを約束します。

1 全国に誇る 子育て環境のまち、教育のまちへ

- ◆ 保育料、副食費、学校給食費の無償化継続
- ◆ 認定こども園等施設整備支援、放課後児童クラブ整備推進
- ◆ 寒河江高等学校の改築促進による教育環境の充実
- ◆ 市内2つの高等学校と新統合中学校との連携による意欲の高い人材の育成
- ◆ 登校困難な子どもたちが多様な選択ができるよう居場所や教育環境の整備を促進

3 若者をはじめあらゆる世代が豊かさを 実感できる付加価値創造のまちへ

- ◆ 欧米豪・韓国・台湾などの富裕層をターゲットにした観光を広域連携で促進
- ◆ 起業やリスキングを支援し、若者が回帰して働くために魅力的な仕事を創出
- ◆ アートやデザインで付加価値を高めるビジネス支援拠点を中心市街地に整備
- ◆ 紅秀峰、つや姫などブランド農産品の更なる付加価値向上
- ◆ さくらんぼ会館の再整備による情報発信の強化

2 誰もが安全安心で 快適さや利便性を実感できるまちへ

- ◆ 市立病院と県立河北病院の統合再編による新病院の早期実現
- ◆ 新平塩橋の着実な整備
- ◆ 内川の内水氾濫に速やかに対応する施設（揚水機場）の着実な整備推進
- ◆ 安全でスムーズな交通を生み出す都市計画道路などの整備推進
- ◆ 高齢者にも便利な移動手段の確保充実

4 持続可能な農村や地域コミュニティで 幸福感ある暮らしに彩られるまちへ

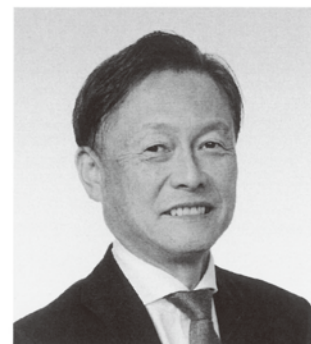
- ◆ 地球温暖化に適応した農業への対応を支援
- ◆ 新規就農者の誘致など次世代の農業担い手への承継をバックアップ
- ◆ あらゆる世代が心豊かに交流できる住民主役のコミュニティセンターの設置推進
- ◆ 市民や高校生がサッカーなどを楽しめる多目的グラウンドを長岡山公園に整備
- ◆ アーバンスポーツ、アウトドアスポーツの振興による国内外との交流促進



〈 齊藤まさあき公式サイト 〉 <https://saitomasaaki.jp/>

プロフィール

◆ 昭和41年(1966) 上山市生まれ 58歳
◆ 昭和60年(1985) 山形県立山形南高等学校卒業
◆ 平成元年(1989) 新潟大学法学部卒業
◆ 同年 山形県職員採用
◆ 平成30年(2018) 病院事業局県立病院課副主幹
◆ 令和 2年(2020) 庄内総合支庁総務課連携支援室長
◆ 令和 4年(2022) 環境エネルギー部みどり自然課長
◆ 令和 5年(2023) 寒河江市副市長



前 寒河江市副市長
齊藤まさあき
さいとう

1票の力が寒河江を変える あなたの選択を信じます!

▶「誰が市長にふさわしいか!?!」

公開討論会 (YouTube) をご覧ください
寒河江 公開討論会 検索

寒河江市長選挙 公開討論会

(寒河江青年会議所主催 令和6年12月2日)

[YouTubeを参考: 候補者の話したポイントと時間の目安]

- 自己紹介 [11分頃~]
- 1. 地域産業の活性化、雇用創出 [22分頃~]
- 2. 市長に当選し、最初にやりたいこと [33分頃~]
- 3. 今後の寒河江市の総合戦略 [48分頃~]
- 4. 中学校再編について [58分頃~]
- 最終弁論 (1人10分) [1時間14分頃~]

ここがポイント

討論会の
ユーチューブ
見だろ?

何やそれ?
みせてくれ!



▶ 市民の声

(公開討論会に参加した人
YouTubeをご覧になった人)

市民に知らされて
いない話が出て
びっくりした



真ッ当なリーダーは
誰なのか!?
違いがよく
わかった



ユーチューブを見て
応援する人を
変えた



国家公務員、
県や市での行政経験、
国とのパイプも
頼りになる



グローバルな視点、
子どもや未来への
取組み、期待して
います



「大泉勝利オフィシャルサイト」は
こちらからご覧いただけます
<https://oizumi-sagae.com>



大泉
勝利
(おおいずみ
かつとし)

1956年11月 寒河江市日和田生まれ / 農家の長男 母、妻と同居

- 寒河江高等学校 卒業
- 北海道大学農学部 卒業
- 農林水産省 入省
- 関東・東北・九州農政局
- インドネシア共和国農業省
- 佐賀県農林部副部長
- 福岡県柳川市副市長
- 東北農政局地方参事官

新しい風 未来を変える!

新しい風1 よりひらかれた市政

- 市民の声を聞く考える、応える力の向上。
- 市と市民が一体となった活動を推進。

新しい風2 人が主役

- 子育て支援の次の段階として、自主性と学ぶ力を伸ばす教育を推進。
- 多様な学びが選択でき、親子が夢を持ち喜びを感じられ、幸福度が上がる社会をめざす。
- 交流事業等の体験を通して、国内外で活躍できる子どもを育成。
- 子どもから高齢者までが参加する、「お互いが気にかかけあう」地域福祉を充実。
- 九州などの温暖な地域との交流を通して、新しい農業への可能性を探ります。
- 国とのパイプを活用し、関東以西にも出向き企業誘致と技術の導入を行い、若い人が働く場所を確保。

新しい風3 未来につなげるまちづくり

- 子どもの成長と市民交流に主眼をおき、学校再編、公共施設整備を進める。
- 新病院の整備は、西村山4町の意向に耳を傾けて、県と協議。
- 危険想定が載る防災詳細マップを作成し、地域での初動防災体制を整える。



お
お
い
ず
み

大泉かつとし

投票日

12月22日(日)

午前7時から
午後7時まで

入場券で投票所をお確かめください。

期日前
投票

期間 / 12月16日(月)~12月21日(土)

時間 / 午前8時30分~午後8時

場所 / 寒河江市役所 1階議会会議室

◇投票用紙の書き方

投票用紙には、候補者の氏名ひとりだけを書き、そのほかのことは書かないようにしてください。

◇親子で投票所に行きましょう。

まだ選挙権のない18歳未満のお子さんも、選挙権のある保護者と一緒に投票所に入場することができます。子連れ投票は、子どもの将来の投票につながります。ぜひお子さんと一緒に、投票所へ足を運んでみてください。

◇入場券をお持ちください。

投票所にお出かけの際には、入場券をお持ちください。

もし、入場券を忘れたときや、入場券が配られなかったときは、投票所の受付係に申し出ていただき、ご本人と確認できれば投票することができます。



詳しくは寒河江市選挙管理委員会まで / 〒991-8601 寒河江市中央1丁目9番45号 TEL 85-1387 (直通)

この選挙公報は、公職選挙法に基づき、候補者から提出された掲載文を原文そのまま印刷したものです。